

令和 7 年 2 月 17 日 午後 4 時 39 分受領

令和 7 年 2 月 17 日

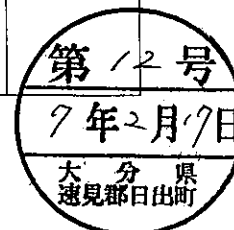
日出町議会議長 金 元 正 生 様

議員番号・氏名 3 番 河 野 美 華

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
Ⅰ 障がい者福祉について	障がい者のご家族が安心して日出町に住み続けるためには地域で支える体制や環境の整備を進めていくことが不可欠だと考える。 しかし障がい者福祉サービスや障がいへの地域理解は現状十分ではなく、整備を進めるにあたり取り組まなければならない課題は多いと認識している。 これまでの一般質問で取り上げた質問の進捗状況も含め、障がい者福祉の課題解決に向けての取り組みについて問う。	① 町長の障がい者福祉に対する基本的考えは。 ② 隠れた障がいとも言われる高次脳機能障害の方はどのような困りや生きづらさを抱えているか。 ③ 大分県と日出町の高次脳機能障害の方の人数は。 ④ 基幹相談支援センターや役場等で実際に相談を受けたり支援を行っている実人数は。 ⑤ 潜在的な高次脳機能障害の方が適切な支援に結びつくために今後どのような取り組みが必要か。 ⑥ 緊急時受け入れ機能と体験の機会・場の機能でもある障がい児のショートステイ先は町内にいくつあるか。 ⑦ 障がい児のショートステイ受け入れ先の確保策は。 ⑧ 就労継続支援 B 型の利用料を町が助成することで利用者の生産活動意欲の維持を図れないか。 ⑨ 親なき後の問題へのその後の取り組みについて。 ⑩ 親なき後の問題を解決するためにはどのような取り組みが必要と考えるか。	



質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
2 家庭でも仕事でも活躍できる社会の実現に向けて	近年、主に若い世代の家庭観・職業観が大きく変化してきている。未来を担う若い世代が理想とする生き方、働き方を実現できる社会を作ることが今後の男女共同参画社会形成において重要だと考える。若者が理想とする家庭生活と職業生活の両立が可能となるために、固定的な性別役割分担を前提とした長時間労働や育児に係る休暇取得の見直しについて町の考えを問う。	① 男性職員・男性教職員の育児休業該当者数、取得者数、取得率は。 ② 男性職員・男性教職員の育児休業取得期間は。 ③ 男性職員・男性教職員が育児休業を躊躇せずに取れる取り組みとしてどのようなことに力をいれているか。 ④ 育休取得率向上や家庭観の変化への取り組みとして孫育休暇を導入してはどうか。 ⑤ 今後の男性職員・男性教職員の育児に係る休暇取得率向上についての見解は。	